

人と音を結び  
Classic Nagoya  
**クラシック名古屋**  
〒460-0024  
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F  
TEL (052) 678-5310 FAX (052) 678-5330  
http://clanago.com

プレイガイド  
**アイチケット**  
0570-00-5310



# ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

**MP MANAGEMENT PRO**  
①舞台イベントの企画制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ  
〒461-0004 名古屋市中区東区2-11-22 アバンテージュビル301  
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: http://www.mane-pro.com



## 2年越し、待望のオペラ公演

名古屋テアトロ管弦楽団／合唱団

### 7月11日 東海市芸術劇場で「トスカ」

オーケストラと混声合唱団で構成する「名古屋テアトロ管弦楽団／合唱団」(代表・上井隆志)が7月11日(午後2時)東海市芸術劇場大ホールで第3回オペラ公演「トスカ」(コンサート形式)を開催する。コロナ禍で1年延期されたオペラ



前回の「アンドレア・シェニエ」公演(2019年)

ファン待望の公演である。1800年、フランスの弾圧を受け、共和制派と王政派が激しく対立する混乱期のローマ。ヒロインのトスカ(上井雅子)と、その恋人カヴァラドッシ(宮崎智永)、そして二重唱ほか名曲アリアを満載。初回公演から音楽監督と指揮を務める佐藤正浩は「ローマの歴史と社会を題材に制作され



榎 貴志



宮崎 智永



上井 雅子

(榎貴志)の命懸けの愛と駆け引きを描いたブツチーニの名作。1幕の「妙なる調和」(カヴァラドッシ)、2幕には有名な「歌に生き、愛に生き」(トスカ)、そしてトスカとスカルピアの二重唱ほか名曲アリアを満載。初回公演から音楽監督と指揮を務める佐藤正浩は「ローマの歴史と社会を題材に制作され

た生粋のイタリアオペラ。そのドラマチックな音楽をぜひ体感してほしい」と力説する。初回の「トゥーランドット」(2018年)、続く「アンドレア・シェニエ」(19年)でイタリアオペラの魅力を全開したテアトロ。上井代表は「2年分の練習量で、2年分の思いを伝えたい」と意気込んでいる。出演ソリストはほかに林隆史、初鹿野剛、大久保亮ほか。上演はイタリア語(日本語字幕付き)。全指定席3500円。東海市芸術劇場は名鉄太田川駅直結。TEL 0570(00)5310、アイチケット。



「マルグリット」を踊る神原ゆかりと梶田真嗣

### 神原ゆかり舞踊生活50周年飾る記念公演

7月4日 芸創センターで 恩師への感謝を込め名作踊る

神原ゆかりが主宰する「ゆかりバレエ」が7月4日(午後6時)芸創センターで公演を行う。神原の舞踊活動50周年の記念公演になる。メインプログラムは、

### 天国の後藤いく子に愛を込め

#### 148 シャンソンの扉

#### 水野正己 旭

「お客さんと一緒に呼吸している」と実感できる瞬間が演劇の醍醐味。終演後の「ありがとう」の言葉に、それまでの苦勞が吹き飛びます」と演劇にのめり込む。

今年後半は7、8月に「クリエイションツアー」(一般参加者とともに、短期間で芝居を作り上演するワークショップ)を名古屋で実施。10月には札幌の劇団の公演に客演する。「何をやっても長続きしない私が、唯一続けてこられたのが演劇です」と苦笑するおぐりまさこ。



後藤の息子・旭と夫の水野

#### 7月、相次ぎ追悼ライブと上映会

メンバーで、現館長の加藤修滋とはタンゴバンドで腕を磨いた仲。後藤もMSSを拠点に活動し、旭は後藤の勧めでNH

「中学生日記」に出演。大学時代には歌手として立つことを決心し、コロナ禍に苦戦を強いられながらも各所でライブ活動を展開。7月3日のライブでは父のベース、加藤修滋のピアノで後藤のオリジナル曲ほかを歌う。水野は「音楽の絆で妻と結ばれ、息子とも共演することができた。妻の名と曲を残すことが、私たちの使命」と言い切る。エルムでは7月7、8日(両日とも午後1時30分と6時30分の2回)後藤のコンサート映像を上映する「後藤いく子メモリアル」を開く。詳しくはTEL 052(733)0085、エルム。

**SUMMER CONCERT 2021**

岡田純奈バレエ団 サマーコンサート2021

2021.6.12 sat  
15:00開演(14:30開場)  
名古屋市芸術創造センター  
全指定席 3,000円(当日券500円UP)

プログラム  
コンテンポラリー作品「インティライミ」～太陽に輝ける羅刹～  
振付: 近江貞実 他 小島集

【新型コロナウイルス対策について】  
・「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」に基づき、予防措置に努めさせていただきます。  
・ご来場者様はマスクの着用をお願いいたします。  
・花束、プレゼント等はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

主催: 岡田純奈バレエ団  
後援: 中日新聞社・愛知県教育委員会 愛知県芸術文化協会 ANET

●チケットのお求め、お問い合わせ  
岡田純奈バレエ団  
TEL.052-788-1880  
https://www.okada-ballet.com

# 和の題材をフラメンコに 加藤おりはが映像作品

## 「Wabi-Sabi PROJECT」 短編3作 YouTubeに



加藤おりは

フラメンコダンサーの加藤おりはが、映像作品「Wabi-Sabi PROJECT」をYouTubeに公開している。

「TORIHA KATO ~ Wabi-Sabi PROJECT」をYouTubeに公開している。加藤による「遊」型の底、4人の門下生による「茶室にて」の3部作で、撮影場所は名古屋の建中寺、稲沢市の茶室「拾穂」へ。茶道の作法を凝縮させたフラメンコに昇華させたアーティスティックな映像で、いずれも5分前後の小品。色彩を排した白と黒のコントラストが美しく、深い。

### 女優・竹元まき子が朗読公演

#### 7月2〜4日 北文化で「新版 出雲の阿国」

前進座出身で、現在「ことの会」を主宰する女優・竹元まき子が、7月2〜4日（いずれも午後2時）北文化小劇場で朗読公演「新版 出雲の阿国」（原作・有吉佐和子、演出・木村繁）を開催。「え、せ、るしあ」の門下生10人が群読で参加する。



竹元まき子

秀吉をも魅了したと言われる阿国。竹元は2018年に朗読劇として阿国を演じ、その波乱万丈の半生を再生させた。日本舞踊をはじめ、和の芸事に精通した竹元ならではの名舞台だった。

### ◆推奨公演◆

#### ◆メニコン・オペラ新

撰組外伝「歳三を愛した女」6月17、18日（両日とも午後1時30分、6時30分）千種文化小劇場。新撰組副長・土方歳三の愛とロマンを描く、あおい英斗の創作音楽劇。出演は菅原浩史・吉武大地、蘭乃はな、青木萌ほか。全指定席8500円（当日9000円）。TEL052(9035)1630。

#### ◆現代舞踊協会「モダンダンス・エクステンション」

6月26日（午後3時30分、6時30分）県芸術劇場小ホール。出演はヒデ・ダンス・ラボ、寺原幸、長谷川美樹、夜久ゆかりの4組。全自由席3500円。TEL090(9911)0428。

#### ◆シンフォニック・シネマ「オーロリー・ヘア

パーン映像付き「コンサート」6月27日（午後2時30分）芸術劇場コンサートホール。演奏は竹本泰蔵指揮・中部フィルハーモニー交響楽団。全指定席6000円、A席5000円。TEL052(678)5310。

### 舞台批評

### 俳優の個性を最大限に引き出し



「班女／葵上」の一場面

野留美子、いこの福代。葵上（演出・齋藤敏明）を見た。三島由紀夫の「近代能楽集」にある2作を1作に複合させた「奇作」である。今回も魅力的な力加才がそろう。初出演の結崎涼村松優子、ティナ棚橋、そして二度目、三度目の出演となる服部智子、藤井奈緒美、阿武

### 人間の意志の所在を問いかけて

#### 「波のような人」



「波のような人」(©Naoshi Hatori)

県芸術劇場が主催する前衛的・実験的なプロダクション「波のような人」の今年度第1弾「波のような人」が同劇場小ホールで上演された（4月27、28日）。又トミック額田大志が作・演出・音楽、愛知出身のアーティスト細井美裕がサウンドデザインを担当した「マルチチャンネルスピーカー」と俳優のための

### 音楽回想ひとり語り

#### ＜6＞「コンドルを唄」

サイモン&ガーファンの曲の歌で1970年にヒットした「コンドルは飛んで行く」。これがフォルクローレ、南米アンデス山地の民謡だと知ったのは後のこと。

このヒットで、フォルクローレがブームとなった。私が好きになったのも、この曲がきっかけだ。ケーナ、チャランゴ、サンポーニャ、アルパなど民族楽器の素朴な音色がフォルクローレの魅力。その音楽に郷愁を感じるのは、アンデス人と日本人の祖先が同じモンゴロイド（子供のころ尻に青いアザがある）だからではないか。



雄大な山々に圧倒されるペルー高原

### 南米アンデスの絶景、今も鮮明に

ブームに乗って多くの楽団が来日し、レコード

やCDも聴いたが、特に私が好きなのは「クリステイナとウーゴ」の夫婦デュエット。クリステイナの妹は、日本でも有名な

「コンドル」のほか「花祭り」「太陽への讃歌」「トゥクマンの月」「滅びゆくインディオの哀歌」など、多くの名曲がCDとLPで聴ける。

子供のころには、南米の奥地にあるインカ帝国の遺跡は想像するしかなかった。地球の裏側まで飛行機を乗り継ぎ、丸一日かけて到着したペルーのクスコ、そしてマチュピチュの遺跡を見た感動は、30年たった今なお鮮明だ。

(文・写真・植田三郎)

**水野慎太郎 加藤修滋**  
**6/30水**  
open 19:00  
start 19:30  
charge ¥3,500

感情揺さぶる演奏で人気を博すピアニスト 加藤修滋。ブエノスアイレス・タンゴ市民証受証

理想的のシャンソン空間  
Cafe Concert **イルム**  
名古屋市中千種区吹上2-4-5  
TEL 052-733-0085  
お電話、又はイルムHPよりご予約下さい



星の女子さん

REシリーズ第2弾「ヤングレ」を観客に届けるREシリーズ第2弾「ヤングレ」(4月16〜18日・七ツ寺共同スタジオ)。コロナ禍により昨年延期した公演だったが、キャスト、スタッフのモチベーションは高く、優れた舞台に結実した。

### 旧作の面白さ、磨き直して再演

#### REシリーズ第2弾「ヤングレ」

親との関係から成長を促す家を出た姉弟が、かつて魔女と呼ばれた店主のいた薬局の納屋に逃げ込むファンタジックな物語。磨き直した作品に、延期した間にさらに手を加えられた脚本は、絵本をめぐるように心地よいスピードで展開。特に掛け合いは面白く、観客を沸かせた。これだけ練り上げたのだから、散りばめた全ての伏線を並べて解いて見せることも可能だったろう。それをしなかったのは、演劇にとって大切な部分、面白い部分を最優先したからにすぎない。役者の生の演技、劇場空間の生み出す力への自信が漲っていた。白を基調に気ままな筆使いのように描かれた美術は平面的なのに存在感があり印象的だった。ヤングレの平手さやかをはじめ、すきい、あさきりまとい、五紀結女ら、女優陣は全員が魅力的。不穏なテーマをにじませながら、歌うシーンなどは軽やかで、ラストからエピソードの温かさまで見事な物語だった。

(竹本)

「WAVE」波

コンサートグループ「WAVE」の「名フィルとのコンチェルト」(4月16日・芸術劇場コンサートホール)に出掛けた。ソリストは

舞台批評

プログラムや振り付けにセンスの良さ



「コッペリア」(Shin STYLE. 深澤恭子)

アールバレエ

杉江留美が主宰するアールバレエの公演「グレートティエド」(4月25日・アートピアホール)で、素敵なダンサーを見つけた。主

満点の熱唱だった。名フィルの首席フルー

ト奏者・富久田は、尾高尚忠(1991-1995年)作曲の「フルート協奏曲」(作品30b)を演奏。日本の古い情景を連想させる懐かしい旋律。こやかで

奥村晃平、名フィルバックに熱唱



アリアを熱唱する奥村晃平

金管のダイナミックな咆哮に快感



観客を魅了したMBNのステージ

この催しは1981年にスタートし、今回が41回目になる。これまで

にスター・プラスの深遠な描写は魅力だが、吹奏楽の勇壮な演奏には理屈抜きに感服がある。2016年、東海地区の

マスターズ・プラス

ストリングスの深遠な描写は魅力だが、吹奏楽の勇壮な演奏には理屈抜きに感服がある。2016年、東海地区の

サートホールを開いた。指揮はMBN音楽監督の鈴木竜哉。総勢69人

の奏者が結集し、伊福部昭「SF交響ファンタジー」(三枝成彰)「機動戦士ガンダム」逆襲のシャア「すぎやまこういち」ドラゴンクエストVIII空と海と大地と呪われし姫君を演奏した。



大病を克服し歌う灰塚弘

際立った灰塚弘、水谷友香の名唱

久々に声楽コンサートを見た。名古屋演奏家ソサエティー(代表・澤脇達晴)の公演「薫風」に吹かれて

では居心地の悪そうな金管楽器群が、我が意を得たりとばかりに咆哮し、

打楽器奏者がダイナミックに自己主張する。サクソフォンが都会的なサウンドを響かせるのも吹奏楽ならではの。指揮者の鈴木は一宮市

間奏曲

消防音楽隊の常任指揮者を務めていた人。強面で姿勢が良いのも納得だ。アンコール「スター・ウォーズ」の演奏後、客席からはかつてないほど熱狂的な拍手が巻き起こった。プログラムの勝利である。

コロナ禍で制約を受けた舞台芸術分野で、最もリスキーとされたのが声楽。長い休止期間を経ての開催で、ファンにとっても待望の公演になった。

「日本のオーケストラ」われらが名フィルはどこにいるのか? 「14位」で、3年前の20位から大幅にランクアップし、喜ばしい。

「音楽の友」4月号に、3年ごとの読者による恒例の人気投票が掲載された。まず気になったのは「日本のオーケストラ」われらが名フィルはどこにいるのか? 「14位」で、3年前の20位から大幅にランクアップし、喜ばしい。

われらが名フィルのランクは?!

ど東京勢が上位に並ぶのは当然。前回、後れを取った金沢、群馬などは抜いたが、まだ札幌、仙台には及ばない。名フィルは10位くらいが妥当な位置ではないか。次回のベスト10入りを期待したい。

「私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します」

な工夫が凝らされた。その中で目に止まったのが黒宮だ。なるほどスワニルダにふさわしいダンサーである。第1部のラストには主宰の杉江が梶田真嗣(客演)と「ソフソディ」を踊った。清楚で気品あふ

れるデュエットだった。プログラミンや振り付けなど、杉江のセンスの良さが発揮された公演だった。「コッペリア」は15周年を迎えたアールバレエ初の全幕作品だった。20周年の記念公演が待ち遠しい。

月24日・御園座)と、工藤流(工藤倉健家元)の「工藤會」(29日・芸術劇場大ホール)が相次ぎ開催、日舞愛好家を楽しませた。

曲を補作、池山奈津都子が演出を行った。佛御前(西川真乃女)、旅の僧(林啓二)、祇王(川まさ子)の三者による回想と成就の物語。せりふ語りを得意とする西川流の中でも、抜きん出

た美声で知られる真乃女が俳優の林、家元補佐まさ子と紡ぎ上げた入魂の作である。

「一座とともに」「尾張の風祭り」を踊り、困難に立ち向かう強い決意を体現した。また千秋楽には妻の寿々弥と「累(かさね)」を披露。家元の母・扇弥は「傀儡師(かいらいし)」で健在ぶりを示した。

日本舞踊の公演

西川真乃女が主宰する「しのじよ会華真」(4

月24日・御園座)と、工藤流(工藤倉健家元)の「工藤會」(29日・芸術劇場大ホール)が相次ぎ開催、日舞愛好家を楽しませた。

西川真乃女、新作長唄を初演



「佛原」の西川真乃女と林啓二

工藤倉健は和太鼓合奏と共演



尾張一座と共演する工藤倉健

Advertisement for 'THE LEGEND' musical. Includes cast list: 官原浩史, 蘭乃はな, 吉田知明, 中村匡宏. Dates: 6月17日, 6月18日. Price: 前売8,500円/当日9,000円.

Advertisement for '私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します'. Includes a list of names and contact information for the magazine's supporters.

和光写真/梅テス・大阪/梅三光/Hide Dance Lab./梅ビデオ映社/松岡侑子バレエ団/川口節子バレエ団 NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト・カンパニー 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊利子/Office KAN/ミュージカルアカデミー-KAO フィルハーモニー・ウィーン・名古屋/明珠会 山村菜乃/川島ナナバレエ団/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江留美

**シブシブシブシブ**  
ナゴヤ劇場の音楽祭

2021.6.27

6,000円  
5,000円

**宇賀神広宣**  
ファゴット・リサイタル

Hironori Ugajin

2021.8.7

**Viva Dolce**  
第20回演奏会

2021.8/14日

上原宏の  
☆音楽☆  
聴き歩き

加藤 恵利子  
ミュージカルで実績のある加藤恵利子が「日本の歌、お好きですか？」と題したコンサート(5月12日・宗次ホール)で幅広い歌唱力を披露した。季節を追って「二月一日」「早春賦」「うれしいひなまつり」「背くらべ」「めだかの学校」「ペチカ」など、中高年にはおなじみの童謡、唱歌ばかり。それぞれの曲に合った表現で、そつがない。彼女はポップスでもそうだが、素直な発音と発声、クセのない歌いまわしが、日本の歌でより生か

実感できた、心に響く歌の力

「里の秋」などに、郷愁だけではない、心に響く歌の力を感じた。

コラトウラの魅力を発揮し

聴覚に障害がある人に対する字幕などの対策も評価できる。

清澄な歌声を聴いた。一年ほど延期になったり、コンサート「平林希乃美ソプラノリサイタル」(3月30日・HIT OMIホール)だ。

また、初めて聴くヘルギーの女性エヴァ・デラクアの「ヴィラネル」(牧歌、田園詩の意味)は、とてもいい歌だった。



原田綾子(P)と加藤恵利子



各務佑実(P)と平林希乃美



KOTO弦楽四重奏団

ピアノは同じ菊里、東京藝大出身の各務佑実。息が合ういいコンビだ。

名古屋、京都の名手が実力発揮

KOTO弦楽四重奏団

KOTO弦楽四重奏団は、名古屋の女性と京都の男性がメンバー。第1回名古屋公演(4月27日・HIT OMIホール)で、実力を披露した。

尚子は名古屋で、第二ヴァイオリン佐藤一紀とチェロ一樂恒は京都。それぞれ第一線で活動中の中堅。

ベートーヴェン「第10番・ハープ」は、際立った特色はないものの静かで味わい深い作品。4人とも確かな技術に支えられ、バランスもよい。繊細さと力強さを兼ね備えた本格派だ。

メンデルスゾーン「第2番」は初めて聴いたが、若きメンデルスゾーンらしい魅力ある作品。春日井の艶のある美しい音が印象的だった。

ところで「KOTO」は京都の古都なのか? 第2回が楽しみだ。

**東京バレエ団 全国ツアー HOPE JAPAN 2021**

東日本大震災10年 コロナ禍 復興プロジェクト

モーリス・ベジャール振付 「ボレロ」(主演:柄本舞) 「ギリシャの踊り」

マリウス・プティパ振付 「パキータ」

2021 7/7(水) 開場18:00 開演19:00

会場: 愛知県芸術劇場 大ホール

主催: 一般社団法人日本バレエ団連盟 / 公益財団法人日本舞台芸術振興会  
共催: C&Cレディ 協力: クラシック名古屋

不安の時代にバレエの力で勇気と希望を。いま再び(HOPE JAPAN)!

2011年、東日本大震災という未曾有の災害が日本を襲った。震災10年、東京バレエ団はバレエの力で勇気と希望を。いま再び(HOPE JAPAN)と題し、モーリス・ベジャール振付「ボレロ」をモチーフに、被災地の東北を全国を巡回した。

あれから10年、今度はコロナ禍という未知の災害が襲来し、私たちの暮らしと社会を、そして舞臺芸術の存在まで脅かしている。そのような中、東京バレエ団は再び「バレエ」を通じて勇気と希望のエネルギーを全国に届けて。人々を鼓舞する勇ましい「ボレロ」、地中深くの愛の叫び、種々な音楽が私たちに伝えている「ギリシャの踊り」というバレエの2大人気演目。そしてクラシック・バレエの神髄を味わえる摩訶不思議な「パキータ」。人々を魅了し、鼓舞し、生きる力を伝えるダンスの力をいまこそ感じてほしい。

愛知県芸術劇場 大ホール

2021年7月7日(水) 開場18:00 開演19:00

会場: 愛知県芸術劇場 大ホール

名古屋ダブルリードアンサンブル  
サマーコンサート2021

2021年7月7日(水) 熱田文化小劇場

6:45pm 開演 6:00pm 開場

入場料(全自由席・税込): 一般 ¥2,000 (当日 ¥2,500)  
学生 ¥1,500 (当日 ¥2,000)

毎年恒例のリード販売ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため今年は中止させていただきます。

会場: 熱田文化小劇場

神野すなほ  
ピアノリサイタル

Sunao Jinno  
Piano Recital

2021 7/21(水) 18:30開演(18:00開場) 全自由席 3,000円(税込)

会場: ザコンサートホール 名古屋・伏見・電気文化会館

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ

クラシック名古屋

052-678-5310

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは  
アイ・チケット 0570-00-5310  
(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索

※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!  
スマホチケット(電子チケット)導入。(利用できない公演もあります)  
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド  
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。